

第3号様式

## 事業の収支予算書(案)

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
1 負担金	2,080,000	長岡市小国地域ふるさと創生基金事業実行委員会負担金
合 計	2,080,000	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
1 実行委員謝金	30,000	実行委員会実行委員謝礼 3,000×5人×2回
2 需用費	20,000	事務用品費
小 計	50,000	
小国芸術村企画展		
1 報償費	90,000	体験教室講師謝金(陶紙焼展)
2 需用費	380,000	ポスター・リーフレット印刷、教材
3 委託料	399,000	体験・交流事業運営管理業務委託
4 役務費	91,000	作品送料、振込手数料
小 計	960,000	
高齢者元気支援事業		
1 報償費	261,000	インストラクター養成講習会、後期高齢者向け教室、地域 デイサービス修了者の集まり、体験発表者への謝金
2 委託料	106,000	運転業務委託
3 需用費	201,000	マイクロバス燃料費、教材費、食糧費
小 計	568,000	
元気な小国を育てる事業		
1 報消費	70,000	アドバイザー謝金、講演会講師謝金
2 需用費	380,000	贈与物品購入費、印刷製本費、食材費、消耗品費
3 役務費	20,000	賠償責任保険
4 委託料	32,000	誘導員委託料
小 計	502,000	
合 計	2,080,000	

平成24年度 ふるさと創生基金事業提案書

事業名	小国芸術村企画展
事業主体	小国地域ふるさと創生基金事業実行委員会
事業の目的・内容	<p>【目的】 無形文化財「小国和紙」を基軸として行われる催事であり、都市との交流や体験を通して小国の魅力を発信する。 地元小学生等に和紙創作活動など、より身近に感じる感性を育む。 都市部で活動する作家と連携を図り、作品展を行う。</p> <p>【内容】 地元3小学校で作品づくりの特別授業を実施。 児童が習字で使用した紙を用いて、ペーパーウェイト等の作成。 芸術村で作品展示などが縁で交流を進めている作家等の作品展。 地元住民が一流の作家から指導を受け、物を作る喜びや交流を更に進める。</p>
事業の実施による効果	<p>児童・生徒など地元市民にとっては、第一線で活躍されている作家と直に接し、作品に触れ、手ほどきを受けることにより、感性が磨かれるなど郷土を愛する心を養う。</p>
実施スケジュール	<p>主な事業計画</p> <p>1回目 平成24年5月1日(火)～5月13日(日) 「小国紙に描く」－青木洋子 絵画展－</p> <p>2回目 平成24年5月19日(土)～6月17日(日) 地域と人を結ぶ交流展「一人展」</p> <p>3回目 平成24年7月28日(土)～8月16日(木) 陶紙焼展と作品づくり体験</p>
担当課・担当者	地域振興課 教育支援係 池原

## 平成24年度 小国芸術村事業計画（案）

事業種別	イベント名	期間	内容	会場
企画展	「小国紙に描く」 -青木洋子 絵画展-	5月1日（火）～5月13日（日）13日間	小国芸術村特別展：オープニングイベントとして画家青木洋子氏の作品展示と小国地域3小学校にて特別授業（体験活動）を実施するもの	芸術村会館
企画展	地域と人を結ぶ交流展 - 四人展 -	5月19日（土）～6月17日（日）5週土日	おぐに折り紙アート（講師：相波葉子）の生徒・講師の作品展示と村上伶氏、鈴木保氏、難波清邱氏の合同作品展を行うもの	芸術村会館
企画展	未定（寄贈作品展）	6月23日（土）～7月22日（日）5週土日祝	ピエール・オベールの作品を中心に小国町に寄贈された海外芸術家の作品を展示	芸術村会館
企画展	（仮称）陶紙焼展	7月28日（土）～8月16日（木） 定休日：火曜・盆休13日 16日間	長岡市古正寺で「うつわや美野里 和楽庵」を主宰する小黒陶三氏と氏を師事する方々の作品展示と作品づくり体験活動を実施するもの	芸術村会館
企画展	小国町展	9月1日（土）～9月30日（日）4週土日祝	町内小・中学校児童・生徒の作品展示	芸術村会館
企画展	陶芸教室・絵手紙作品展	10月6日（土）～10月28日（日）5週土日祝	陶芸教室・絵手紙サークルの作品展示	芸術村会館

※ 着色セルがふるさと創生基金事業として計画したいもの。

※ 広域的な優良展示会ができそうな場合は、これを未定部分に実施する。

## 平成 24 年度小国芸術村会館 開館特別展 (素案)

### 「小国紙に描く」—青木洋子絵画展—

#### 主旨

昨年亡くなられた小国町苔野島の中村英一さんは、平成以降、全国でも数少なくなった農家と紙漉きを両立させていた人でした。

今回の開館特別展は、中村さんの遺した小国紙に、静岡県沼津市在住の画家、青木洋子氏が、「小国の四季」と題した屏風4隻をはじめ、すべて新しく描いた作品で構成します。

青木氏は、東京芸術大学油絵科の卒業ですが、近年は主に和紙と墨による作品を製作し、国の内外で発表しています。

恒例になっています地元小学生との交流は、青木氏の指導による生徒が習字に使用した紙を用いて、新たな造形が生まれる楽しさを体験しようと思います。

会期 平成 24 年 5 月 1 日(火)～13 日(日)

時間 午前 10 時～午後 5 時

会場 小国芸術村会館

オープニングイベント 5 月 1 日(火) 午前 10 時 開会式  
(於 小国芸術村会館) 11 時 作家による作品説明

#### 【 特別催事 】

小国町の 3 つの小学校を青木氏が巡り、児童が習字に使用した紙を用いて、ペーパーウエート等を作る特別授業をしていただく。

現在、第一線で活躍されている画家に直接、指導を受けることで、児童たちが創作への興味を深め、豊かな感性を育みたい。

5 月 1 日(火) 13 時～15 時 浜海小学校にて特別授業

5 月 2 日(水) 9 時～11 時 上小国小学校にて特別授業

13 時～15 時 下小国小学校にて特別授業

※ 3 つの小学校の日程は、後日調整させていただきたいと思います。

平成24年度 ふるさと創生基金事業提案書

事業名	高齢者元気支援事業
事業主体	小国地域の高齢者を考える会
事業の目的・内容	<p><b>【目的】</b></p> <p>高齢化が進行している小国地域では、いつまでも自立した生活が送れるよう、介護予防や健康づくりのニーズが切実になっている。</p> <p>社会資源が限られている当地域では、これまで以上に住民と関係機関が協働して問題解決に当たることが重要になっている。</p> <p>そこで、住民と関係機関が参加するワークショップを企画・開催することで、地域の現状を自分たちの問題として捉え、協働に向け多様な人との新たなつながりを築く場としたい。</p> <p>また、自主サークルとして活動しているけんこつ体操教室の支援の充実や地域型介護予防サービス修了者の受け皿づくりに取り組みたい。</p> <p><b>【内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 関係者によるワークショップの開催（NPOの協力を得る） 各所属の取り組みや課題を紹介し、意見交換をする中で連携・協力ができることを探っていく。住民参加のワークショップの企画</li> <li>2 住民参加のワークショップの開催 元気高齢者、介護体験者、脳卒中後遺症者などの体験談を聞き、学ぶ機会とする。</li> <li>3 ワorkshopの内容を通信にして地域に発信する</li> <li>4 けんこつ体操インストラクターの育成</li> <li>5 後期高齢者向けけんこつ体操教室の立ち上げ（総合センターで実施）</li> <li>6 けんこつ地域教室の新規参加者を増やすための取り組み（希望する既存教室で実施）</li> <li>7 地域型介護予防サービス修了者の集まりを立ち上げる</li> </ol>

<p>事業の実施による効果</p>	<p>1 ワークショップ等を通して新たなつながりができ、地域の問題解決のために協働する「地域力」が高まる。</p> <p>2 体操教室や高齢者の集いの場が増えることにより、健康な高齢者が増え生活の質が向上する。その結果、増加する医療費や介護給付費を減らすことにつながる。</p>
<p>実施スケジュール</p>	<p>平成24年4月～平成25年3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係者によるワークショップの開催 年3回 社協小国支所、地域包括支援センター、NPO、小国サテライト、行政、おごしの里 等 各所属が取り組んでいること、仕事への思い、課題などを発表し、その後意見交換をする。 住民参加のワークショップの企画をする。</li> <li>・ 住民参加のワークショップ 年1回 元気高齢者、介護体験者、脳卒中後遺症者などの体験談を聞き、学ぶ機会とする。</li> <li>・ ワークショップの開催および通信発行のための準備会議（随時）</li> <li>・ 通信の発行 3回程度</li> <li>・ インストラクター希望者の募集・決定</li> <li>・ インストラクターの養成</li> </ul> <p style="text-align: right;">} 4月又は5月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ けんこつ体操後期高齢者向け教室の立ち上げ7月～（週1回）</li> <li>・ 地域型介護予防デイサービス修了者の集まり5月～（月2回）</li> <li>・ けんこつ体操新規参加者を増やすための取り組み10月～（5回）</li> </ul>
<p>担当課・担当者</p>	<p>市民生活課 保健係 高木</p>

平成24年度 ふるさと創生基金事業提案書

事業名	元気な小国を育てる事業
事業主体	「元気な小国を育てる事業」実行委員会 [協力呼びかけ予定団体：体育協会・体育指導委員・食生活改善推進委員協議会・保育園・小中学校・総代会]
事業の目的・内容	<p>【目的】</p> <p>近年の健康ブームの中、運動や食事の摂り方が健康づくりには欠かせないことが広く認識されつつある。また、スポーツを推進する人々の間では、運動に適した体作りをするために食生活を改善する“スポーツ栄養学”という新たな分野も注目を集めている。</p> <p>小国地域では、各種スポーツ団体に加入して活躍している人々や、けんこつ体操教室や水中運動愛好者、食生活改善推進委員活動等自主的に運動や食生活改善に取り組む団体が活躍する一方、働き盛り世代は仕事や子育てに多忙で運動不足や食生活に偏りが生じやすく、体力低下や生活習慣病予備軍等、子どもたちにも少なからず影響が出やすい現状がある。</p> <p>そこで、食に関する講演会とウォーキング大会を実施することで各自が食生活を振り返ると共に、体を動かすことの心地よさを実感し運動を始める動機付けの機会としたい。</p> <p>また当日の参加者を増やすための工夫や次年度以降も事業を継続して実施するために、企画段階からアドバイザーや他団体との意見交換を行う等役割分担を図りながら、健康づくりの気運を広めていきたい。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 食育講演会</li> <li>2. ウォーキング大会</li> <li>3. ニュースポーツの紹介</li> </ol>
事業の実施による効果	広い世代に運動や食事を通じた健康づくりの普及啓発が図れる。
実施スケジュール	4月～ 企画会議（3回程度） 5月 周知・参加者募集 6月中下旬 講演会・ウォーキング大会・ニュースポーツの紹介
担当課・担当者	市民生活課 保健係 加藤